

2013年3月期 第1四半期 決算補足説明資料



2012年 8月14日
株式会社エムアップ

目次

■ 2013年3月期第1四半期決算概要	2
■ 業績予想、今後の事業戦略	7

2013年3月期 第1四半期 決算概要

2013年3月期 第1四半期 決算のポイント

- **スマートフォンの急速な普及と、フィーチャーフォン向け公式サイトでの会員数の減少
⇒今夏～今秋の完了を目指し、全サイトのスマートフォン対応を推進**
- **一部の配信コンテンツやシステムの内製化に伴う粗利益率の向上**
- **CD・DVD・ブルーレイの音楽・映像商品の直販事業の順調な拡大**
- **M & Aによる子会社エムアップAEの取得と、韓流分野の開拓**

※ エムアップAEのPL連結は、第2四半期以降となります。

※ 詳細につきましては、2012年7月2日公表の「連結子会社における今後の事業展開方針について」をご確認ください。

第1四半期 業績の概要

- eコマース事業の順調な拡大に伴い、売上高は10%の増加

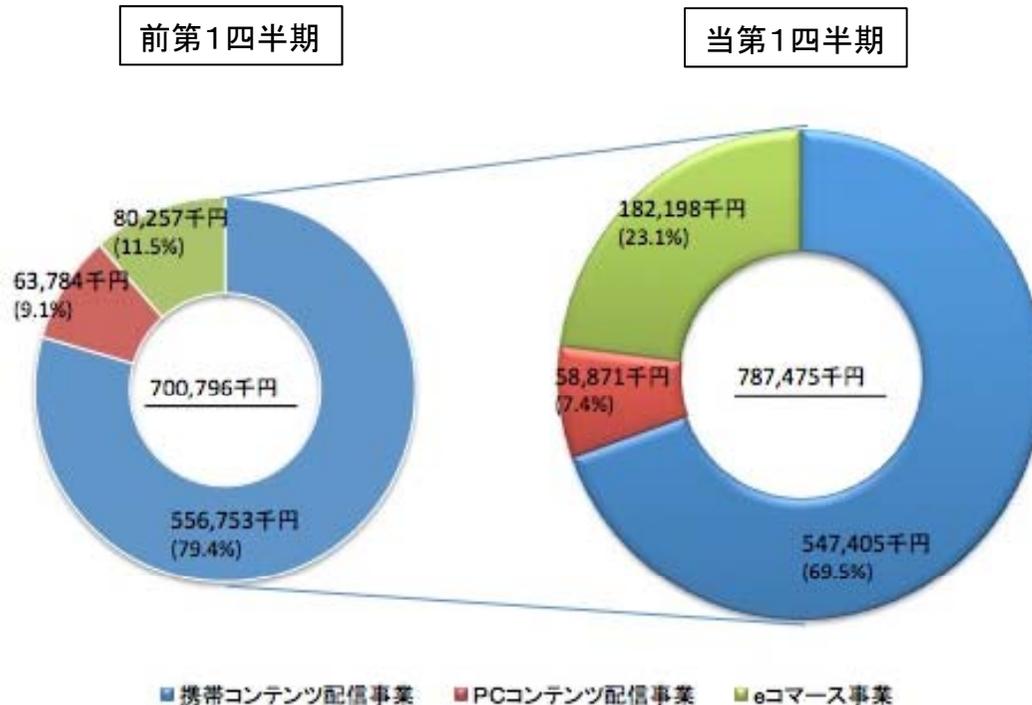
(単体) (単位:百万円)	12年3月期 1Q(4~6月)実績	13年3月期 1Q(4~6月)実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	700	787	86	12.4%
売上総利益	271	296	24	8.9%
売上高総利益率	38.8%	37.6%	—	—
販売費及び一般管理費	148	155	6	4.3%
営業利益	123	141	17	14.5%
営業利益率	17.6%	17.9%	—	—
経常利益	122	141	18	15.4%
税引前四半期純利益	122	141	18	15.4%
四半期純利益	69	90	17	23.9%

第1四半期 セグメント別業績の概要

(単位:百万円)

		12年3月期 1Q(4~6月)実績	13年3月期 1Q(4~6月)実績	前年同期比	
				増減額	増減率
携帯コンテンツ配信事業	売上高	556	547	△9	-1.7%
	セグメント利益	172	192	19	11.4%
	利益率	31.0%	35.1%	—	—
PCコンテンツ配信事業	売上高	63	57	△5	-9.3%
	セグメント利益	9	7	△2	-21.3%
	利益率	14.9%	12.3%	—	—
eコマース事業	売上高	80	182	101	127.0%
	セグメント利益	3	17	13	397.2%
	利益率	4.3%	9.3%	—	—
合 計	売上高	700	787	86	12.4%
	営業利益	123	141	17	14.5%
	営業利益率	17.6%	17.9%	—	—

第1四半期 セグメント別売上高構成比



【携帯コンテンツ配信事業】

- ・想定以上に進むスマートフォンの普及と、それに伴う既存サイトの会員数の減少（音楽系、エンタテインメント系）

- ・順次すすめる既存サイトのスマートフォン対応

- ・NMB48、なでしこリーグなど新規アーティスト等の獲得の推進（ファンクラブサイト）

【PCコンテンツ配信事業】

- ・携帯コンテンツ配信事業及びeコマース事業も含め、将来の収益の獲得と拡大につながるような事業展開

【eコマース事業】

- ・CD、DVD、ブルーレイなど音楽映像商品の直販事業の順調な拡大

- ・サイト限定商品の取り扱いなどによる利用の促進、取り扱いアーティスト、商品数の拡大

業績予想、今後の事業戦略

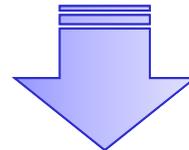
2013年3月期業績見通し

(単体) (単位:百万円)	12年3月期 実績	13年3月期 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,603	3,700	96	2.7%
売上総利益	1,194	1,118	△75	-6.3%
販売費及び一般管理費	707	618	△88	-12.5%
営業利益	486	500	13	2.7%
経常利益	471	500	28	6.1%
税引前四半期純利益	471	200	28	6.1%
四半期純利益	261	300	38	14.9%

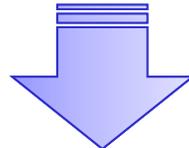
2013年3月期 通期業績予想のポイント ①

●全サイトのスマートフォン対応の推進

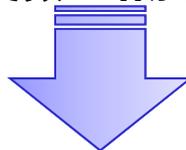
利用者のフィーチャーフォンからスマートフォンへの、各キャリアの想定を超える急速な移行
⇒フィーチャーフォンを中心に展開する同業他社においても、会員数は減少



当社の携帯コンテンツ配信事業もスマートフォン普及の影響により、音楽配信、デコメ等のエンタメ系コンテンツの会員数に減少が見られ、業績は横ばい
⇒2013年第1四半期では、前年同期比売上高1.7%減、セグメント利益11.4%増



ファンクラブサイトは、当社の特長でもある長期会員特典等の施策により、スマートフォンへの移行を留まる利用者が多い
⇒会員数の減少を予防
さらに、スマートフォンへ対応したファンクラブサイトについては、新たな入会者の獲得も
⇒フィーチャーフォンの減少分をカバーし会員数が増加する現象

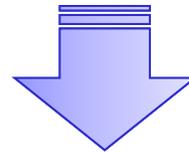


ファンクラブサイトを中心に、今夏～今秋までを目途に、
全てのサイトのスマートフォン対応を推進

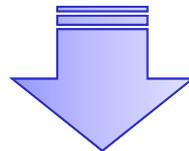
2013年3月期 通期業績予想のポイント ②

● 順調に拡大を続ける音楽・映像商品の直販事業売上

2011年10月より、アーティストの公式サイトやファンクラブサイトからのCD・DVD、ブルーレイの音楽・映像商品の直販事業を本格化



取り扱いアーティストや商品数の増加と利用の促進により、eコマース事業の売上高、利益が拡大
2013年第1四半期では、前年同期比で 売上高が約2倍、セグメント利益が約5倍と大幅な増収増益



一方で、現段階ではレコード会社から、下期以降の新譜の販売計画が発表されていないため、下期6ヶ月分の売上高及び利益については、業績予想には含まず

2013年3月期 通期業績予想のポイント ③

● M & Aにより、(株)エムアップAEを子会社化

- ◇「韓流大好き！」など多くの韓流サイト運営の実績を有する韓国人スタッフが在籍しており、それらスタッフを中心に、これまで当社が進出していなかった韓流分野を引き続き開拓、強化し、韓流分野でのナンバー1サイトを目指す
- ◇ ファンクラブサイト運営最大手になり、スケールメリットを生かした事業運営によって、収益の最大化と業務の効率化を図る
- ◇ 当社のファンクラブサイト運営のノウハウを注入し、エムアップAEとして運営するサイトの更なるユーザビリティの向上や、新規会員の獲得を推進
- ◇ 加えて、当社のeコマースシステムを活用することによって、エムアップAEの運営するファンクラブサイトでもグッズや映像商品を積極的に取り扱う
- ◇ 韓流サイト、ファンクラブサイトともに、当社の公式サイトと同様にスマートフォン対応を推進

※ エムアップAEのPL連結は、第2四半期以降となります。

※ 詳細につきましては、2012年7月2日公表の「連結子会社における今後の事業展開方針について」をご確認ください。

2013年3月期 期末配当について

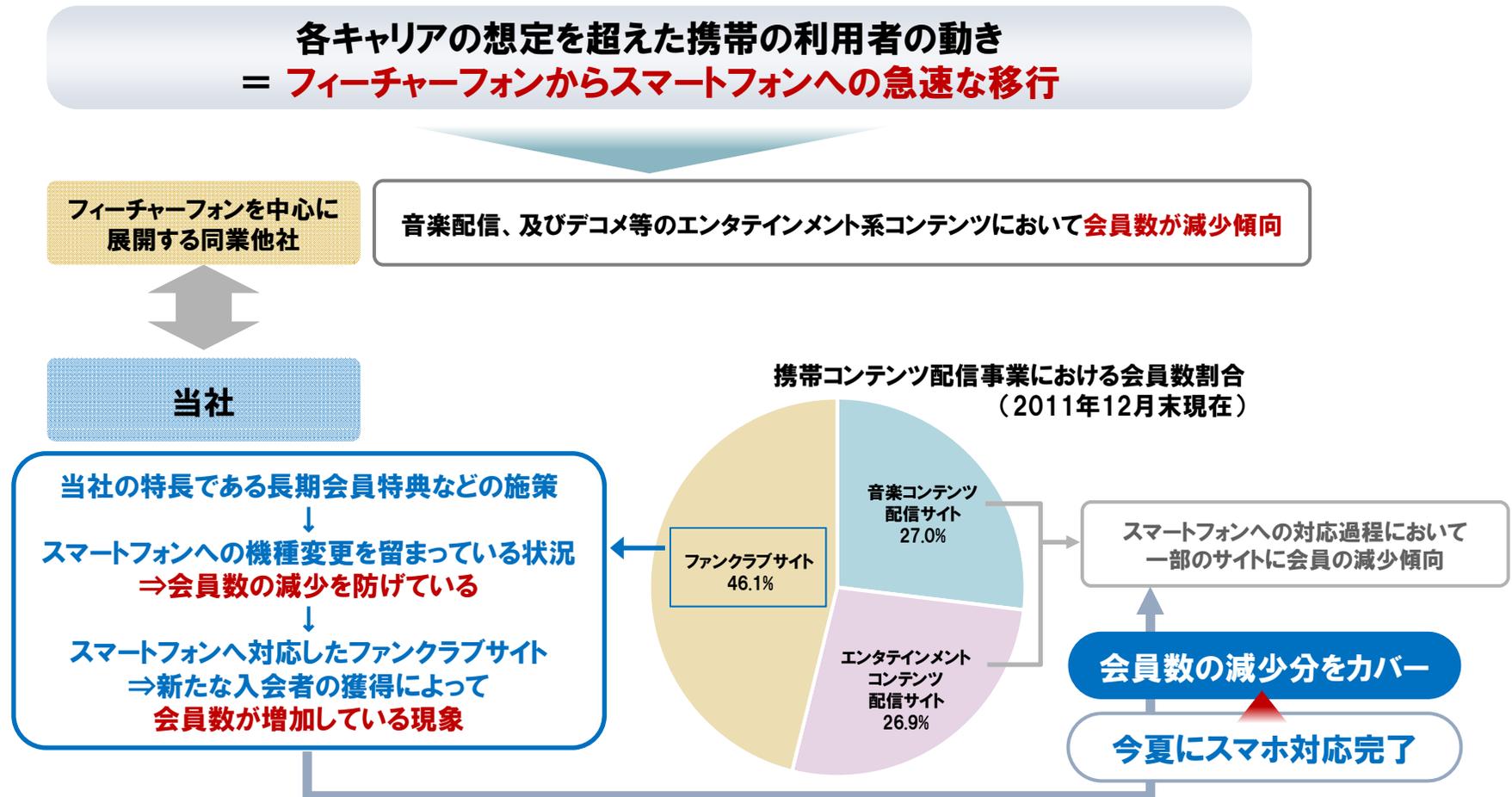
- ◇当社は剰余金について、配当性向30%を目安とする、業績に連動した配当の実施を基本方針としております。
- ◇平成24年3月期の期末配当につきましては、1株当たり25円の配当を実施させていただきました。
- ◇平成25年3月期につきましても、上記の基本方針に基づき、株主の皆様へと利益還元をさせていただく予定であります。

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	0 00	—	25 00	25 00	81	30.0	7.0
25年3月期(予想)	—	0 00	—	27 50	27 50		30.0	

(注) 当社は、平成24年8月1日付で、株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
平成24年3月期配当金額は、当該株式分割が前事業年度期首に行われたと仮定して算出しております。

今期業績予想のポイント①

● 同業他社と異なる会員数の動向 ⇒減少を回避



今期業績予想のポイント②

- **eコマース事業における直販の順調な拡大**

2011年10月より、アーティスト公式サイトやファンクラブサイトからのCD・DVD・BD等の音楽・映像商品の直販を展開

現段階で、レコード会社から下期以降の新譜販売計画は未発表

下期6ヶ月分の売上及び利益について
業績予想には含めず

業績予想の
見直し要因

順次発表される
新譜リリース

eコマース 事業	音楽・映像商品等の直販	CD・DVD・BD、アーティストグッズ
	セレクトショップ	アパレル商品、自転車
	ブランド単体ショップ	アパレル商品、アクセサリ

注意事項

- 当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料は、当社および当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資の勧誘を目的としたものではありません。
- 投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。
- 本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証、あるいは約束するものではありません。

《本資料に関する問い合わせ先》

株式会社エムアップ (<http://www.m-up.com/>)

IR担当

TEL:03-5467-7125